

私を変えた先生との出会い

私を変えた先生は、Kという中学校の頃にお世話になった先生です。私をどう変えたかと言うと、人として一回りも二回りも大きく成長させてくれました。

先生と出会ったのは中学1年生の時に、担任でありラグビー部の顧問でもありました。K先生には日常の学校生活でも部活動でもお世話になりました。

部活動では中学校で初めてラグビーをやる私たちに、たくさんの技術を身に付けさせてくれました。熱い指導を毎日してくれて、たまには「イラッ」とすることもあったけど、それでも自分たちのために、寝る時間を犠牲にしてラグビーのことを考えてくれました。そのおかげで私たちは、中学校でラグビーを始めた人が多い中、宮崎県1位、九州1位と全国でも負けない一流の選手として成長することができました。

生活面でも本当にたくさん支えてもらいました。他の先生には相談できない事でもK先生になら話すことができました。行きたい高校の先生とも話をしてくれました。私が問題を起こしてしまった時も、K先生が一番頭を下げて一緒に謝ってくれました。「俺はいくらでも頭を下げて謝るから。」と先生が言ってくれたとき、「ああ、自分はなんてことをしたんだろう。」と思い、人に迷惑をかけたらいけないと、この時私は本気でそう思いました。本当に人として成長させてくれたと思います。

K先生は、「やれでやるより、やるでやれ。」という言葉が好きで、学級目標にもなりました。意味は、人に言われてからやるのではなく、言われる前に自分でやるということです。この言葉は、これからも私の中での目標としていきたいと思っています。私を大きく成長させてくれたK先生との出会いに、これからも感謝していきたいと思っています。

佐藤 諒汰
(高校生)